

『スイミー』

スイミーの魅力について保護者の皆さんはたくさんコメントしてくださいました。

今では、協力性を学べるからなどと思っていた私も、保護者の方の中には、『その日から、少しずつ自信を取り戻していった姿が忘れられません。』や『違っているからこそできることがあって、それを主張できる。そんな生き方があるんだ！と知った作品です。』と言われていました。中でも、皆さん書いていたのが、「僕が目になろう」という言葉です。私も、それはすごく心に残りました。

「自分だけからだの色が違うことに恥ずかしがらず、受け入れて、最後には自分の強みにして個性を活かしている」という物語の読み取りを皆さんは気づいていたようです。自分だけ、違うという考え方をしていた方もスイミーのその場面を読んで、心が軽くなって自身がついてきたそうです。

なので、スイミーは人の心を元気続けることがわかりました。

～保護者の皆様の感想について～

・はじめてのおつかい

確かに牛乳を買いたくなってきたってしまう絵本でした。初めてらしいおつかいのようなすをこの絵本に描かれていたのがすごいと思うし、その絵本の魅力を読者に実際に体験させようという思いで作ったのかな？とも思いました。

僕も絵がすごいということに共感です。わかりやすく描かれており、モジャモジャをつけて書いたりなど住学たくさん工夫をしていたところもすごい。

保護者の皆様すごく良い感想ありがとうございました。

保護者の感想をみたら
文章深く考えている事がわかります

小さな一生けんめい踏み出
す姿がとてもかわいらしい
絵の細かい描写がとても気に入った
ドキドキしながらも一歩踏み出す
姿に、成長を感じました

私は、初めてこの本を読んだときみ
いちゃんはすごいなと思いました。
なぜなら、たぶん私がみいちゃんと
同い年の5歳だったらエレベーター
の中に一人でいるのが怖くて行けな
かったけど、この本を読んだら確実
に「ひとりで、おつかいいく～」と
言っていたと思います。

保護者の人たちの感想を見てこんな
気持ちで選んでくれて、読んでくれて
いたんだと思いました。特に、はらぺ
こあおむしが多くて出産祝いで送って
いたと書かれていました。私は、お母
さんに読んでもらっていたけど、読ん
でもらった記憶がありませんでした。
お母さんは自分が好きな絵本も読んで
もらってそれがおもしろかったです。

感想を読んで私は、絵本は昔から残っているものだから親でもたくさん思い出があるけど私のお母さんもそもそも絵本や本をあまり読んだことがなかったから今思い返してみるとお母さんは大変なんだなと思いました。親たちがこんなに小さい頃のことを覚えていて、自分の子にもそれをやっている感じがするし、だから絵本はこれからも大切にしていけないといけないんだなと思いました。でも最近絵本の売上が少なくなっているから、これからも頑張ろうと思いました。

～保護者様のご感想 ～

特に多かったのは、「子供が生まれたときに買ってあげた」です。小さな頃から読み聞かせることで、語彙力の力がついたりと様々な知識が身につくので、保護者の方は買ってあげたのだと思いました。

絵本は子供のころに読むのと、大人になってから読むのとは違い、子供の頃は「いないいないばあ」など面白い表現の仕方があって笑顔になったりしますが、大人になってから改めて読むと、面白く簡単な表現の言葉でも「この言葉にはこんな意味が込められていたんだ」とわかることができるので何歳でも読むことができると思いました。

～保護者の皆様の感想を見て～

保護者の皆様の感想を見てみて思ったことは、皆さん、子供の頃に読んだ記憶や自分の子供に読ませて懐かしいと書いてくださっていたので自分は覚えていないのかもしれないけれど、読んでくれていたんだな～と思いました。

これだけ有名な本たちならこれから生まれてくる子たちやその保護者の皆様に「この本は面白そうだからかって見よう！」と思ってもらえるようにポスター作りを頑張ります。

（実は私は、この絵本を読んだ記憶は全くありません。）

保護者の人の感想について・・・
大体自分の読んだときや子供に読ませたときのことを書いていた。
おおきなかぶ
掛け声など心にずっと残るようなところを書いていた
例うんとこしょどっこいしょ
ぐりとぐら
おおきなかぶと同じでカステラなど心に残るところを書いていた。
すべてゲームみたいのをしていた

やっぱり色が豊かでこのいろがおおいと発達するからとかリズムカルで馴染みやすいし絵本に興味を持ってくれたとかいうこのいろずかいは僕もちょうちょのところがすごくきれいでそれに「♪月曜日、火曜日♪♪」のところが気に入ってたとか有名だし穴が空いているとかが気に入って遊んでいたとかいうのがきょうかんできた

保護者さんのアンケートを聞いて思ったことは、保護者の方は、子供が喜んでくれたら楽しいんだなと思いました。子供が喜んだり一緒に楽しめることが大切なんだなと思いました。ベストセラーなので、昔を思い出したという保護者さんも多かったのも、キャッチコピーは昔を思い出させたりできるものだったらいいのかなと思いました。多くの人に親しんでもらえているので、人それぞれのエピソードを持っていると思いました。その一人ひとりの思い出などをポップにして表せたらいいです。僕にも色々思い出があるので、それもお母さんに聞いたりして活かしていきたいです。今回の意見を聞いて、思ったことをお客さんに伝えたいと思います。

ぼくは最初、ねないこだれだは「完全に幼児よりした（0～3歳）が読み、楽しむ絵本だと思っていました。

ですが、保護者さんたちは「子供が楽しむと自分も楽しい」だったり、「リズムが良いから家族みんなで楽しめる」などと書いてくれたので、意外と保護者の人も楽しめるんだと新たな発見をしました。

感想の一つの中に、「文の表現や、リズム感が一番の魅力」だと言っていました。これはぼくたちが一番の魅力としていたことです。（自分もこのお話のリズム感が良く、弟にも絵本はないけど、実演して読んで上げて、とてもよろこんでいたからです、

このように保護者のひとにもしっかりと魅力が伝わっているんだと思うとやっぱりせなけいこさんの作品（おばけシリーズ）は家族みんなで楽しめ、会話の時間も作れるとても良い絵本だと思いました。なので、ぼくたちの気持ちを買うターゲットである保護者の人たちに伝われば良いなと思いました。

私は、保護者の方の感想を読んで、特に『絵』を見ていたと思いました。例えば、ねないこだれだのおばけが好きということです。

また、自分の子供の経験を書いていました。例えば、はじめてのおつかいの「ママ、僕も牛乳買いに行きたい！」といったことが書かれていました。私も過去を振り返ってみると、（お母さんに聞きました。）おしioreのぼうけんを読んだあとは、すぐにおしioreにいたり、ねないこだれだを読んだら、当時おばけが怖かったので、すぐに寝たそうです。このことから、自分の子供が読んだ初めての絵本や自分がその本を読んだことがあると、「なつかしいな〜」とおもえて、買えると思いました。だから、今回は、懐かしい思い出も少し入れようと思いました。

保護者の人も書いていた通り、はらぺこあおむしは、とてもリズムミカルな文章なので歌を歌って読んでいたことを思い出しました。

保護者の人は、赤ちゃん（小さい子供）が興味を持ってほしいと思って買っていると思います。

そして、ちょっとした、仕掛けがあるから買ったと思いました。

私は保護者の方のエピソードを見て、カラフルな絵とリズムカルに読めるストーリー、ページに穴が空いたりしている表現は子供への興味をひくということがわかりました。一日に子供は何度でも読みたくなる絵本だそうです。

他にもはらぺこアオムシの歌などもあるそうです。

保護者の方にも懐かしさがあるとてもいい一冊とのことだそうです。

私も幼少期にこの本を読んでいたのを思い出しました。

おかあさんは、子供理解するのが好きなんだなっと思いました。そして教育に良いのも好まれるのかなっと思いました。

えがたのしいかんじがこのまれるのかなっとおもいました。

リズムがいいのが好まれているのかなっと思いました。

もちはこびやすいのがこのまれるのかな？

そのまま寝れるのがいいのかな？

家族で楽しめるのがいいのかなっと思いました

みんなが楽しめる本を強調させたそうがいいと思いました。

思い出になる本が良いと思います。

りかいしやすいのがいい？

保護者の方は、自分の子供の頃に読み聞かせてもらった本を僕たちに読み聞かせてくれていることがわかりました。はらぺこあおむしがやっぱりダントツだということがわかりました。ぼくは、ぐりとぐらや、はらぺこあおむし、そして大きなかぶの印象が強いです。

大きなカブは、なかなか抜けずに最後抜けるという言ってみれば普通のお話ですが、ネズミなども頑張ってくれていることに気を取られて何回も何回も読みました。

ねことねずみがなんでけんかをしないのかということが、僕の幼稚園の頃の疑問だったことも多分あったと思います。あと、はらぺこあおむしは、これはなんの植物を食べているかというのを当てるゲームをしていたことを覚えています。

また、ぐりとぐらのパンケーキも食べたいと思っていました。

【スイミー】

スイミーの「僕が目になろう！」
というセリフに子供が「スイミー
はカッコいい」と、思ったり「違
うことは悪いことじゃない」と、
感じたらしいです。「スイミーみた
いに、みんなをまとめる人になり
たい」などもあったらしいです。

保護者の方は、大体は赤ちゃんに読み聞かせをするから買ったと言っていました。そして、子供に小さい時から絵本を読ませることで、想像や知識を得るために絵本を読み聞かせをしているんだなと思いました。僕も、昔は「いないいないばあ！」や「おおきなかぶ」を読まされたことが今でも心に残っています。たくさん絵本を読ませることでいろんなことが広がるんだなと知りました。

保護者の方のエピソード・感想

はじめてのおつかいに登場する、みいちゃんと保護者の方のこどもを比較していることが分かりました。保護者の方のこどもも、「おつかいをしたい！」とか「牛乳を買いたい」などと言ってみたみたいです。私も小さい時、はじめてのおつかいを何回も読んだので、私もこんなことを言っていたのかなと思いました。

はじめてのおつかい

- 保護者様の感想を見て一番「はじめてのおつかい」がしっくりきました。まず、みいちゃんは赤ちゃんのために転んでも頑張る気持ちや、おばさんに邪魔されても逃げとお母さんのところに行かないで頑張る気もちに保護者様が子供の頃感動したそうです。

～保護者の人の絵本の感想～

- はじめてのおつかい
 - 自分の子供もお使いに行きたい。
 - 最後まで諦めない
- 大きなかぶ
 - 協力するのが大事
 - 最後まで諦めない
- 素敵な3人組
 - 結局最後はいい人になった
- 共通
 - リズムが良くアレンジしたりしていた
 - 絵本との出会い
 - その本を手にとると思うこと

僕はお母さんの感想を見て、おばけ好きな子供でも隠すと書いていらっしやったので子供はみんな、最後な場面が怖いのかなと思いました。

また、「絵を見ているだけで楽しい」とかいていらっしやったのでせなけいさんの、この「ちぎり絵風の書き方」は人気を集めているんだなと思いました。

最後に、リズムもよく、読みやすいと書いていらっしやったのでお母さんにもお父さんにも人気なんだなと思いました。

本当に怖くなって寝てる子もいるから、お母さんやお父さんからしても欠かせないと思います。

なので、少し怖くポスターを書いてもいいかなと思いました。

りかいしやすく、とてもみりよくてきなので子どももたのしくよんでいたそうです。

自分も読んでもらった気はしますが、記憶に残ってないので、かえったらおかあさんとおとうさんにきいてみようとおもいます。

お母さんたちの感想を読んで...

ほとんどのお母さんたちの感想が「イラスト」についてたくさんのお母さんたちの感想があった。例えば.....

- 絵の細かい描写がとても気に入って、何度も何度も見入った
- 色彩の豊かさとかわいらしい仕掛けに子供達も興味
- 虫の成長とカラフルな色味、実際に触れて感じれるからです
- 綺麗な蝶々

など様々な感想があった。

やはり子供も大人もこのエリック・カールの色彩が好きなのかなと思いました。

他にも読みやすさやリズムなどにも保護者様はちゅうもくをしていました。例えば...

- 美しい絵とリズムカルに読めるストーリーは子供の興味を引き、絵本が大好きになるきっかけを与えてくれました。
- 食べたものをはじめから最後まで早口言葉のように一緒にとなえたりと子供との思い出の一冊です。
- 「おやはっぱの上にい〜♪ちいさなた〜ま〜ごお〜♪・・・」と一冊分全て歌える歌もあってよく親子で歌ったり、読んだりして楽しみました。

お母さんたちはそんな事を考えて

「はらぺこあおむし」を選んでくれたんだなと実感しました。私も小さい頃からはらぺこあおむしを持っていたから、すごく好きでお母さんたちも言っていたとおり、あおむしが通ったあとの穴を指と通そうとして破れた絵本が今も家にあると思います。保護者の方が言っていて多かったのが、カラフルで可愛い絵がいいという事で、私もはらぺこアオムシの感想でカラフルでシュールなわかりやすい絵がいいって書いたから、お母さんたちもそこがいいと思って買って、読んでくれたんだろうなと思います。私達もだけど、何度も読んだから内容も完璧に覚えていて、保護者の方はめをつ打っていても言えると言っていたから、それほど何回も読んで一読んで一と頼んだんだと去ろうなと思いました。

保護者の感想を見て、こんなに絵本に熱心になって懐かしい気持ちになるんだと思いました。やっぱり、絵本というのは大人の方にとっても懐かしく感じられる魅力があるんだと思います。子供からしても登場人物の気持ちになって怖い、面白いと感じれるような所が絵本のすごい所です。

やっぱり、大人の人たちは、子供はただ単にストーリーやリズムを楽しんでるけど、大人の人たちは絵本に込められた意味まで深読みして？考えていると思いました。だから、今回のポップやポスターでも、そんな深読みしている大人の人たちに響くようなものにしたいと思っています。頑張ります！

〈自分が感じたこと〉

保護者の人たちは、自分も読んだことのある、昔からある本が今でも印象が残っているんだなと思いました。私が担当している「ねないこだれだ」は、「シンプルな所が良い」という感想が多かったです。文章だけではなく、「絵もシンプルでわかりやすいから」という感想もありました。「ねないこだれだ」は、少し怖いところがあるというのも魅力のひとつなんだなと思いました。なぜなら、少し怖い分、お母さんと一緒に「キャー」と言いながら楽しめる良さもあるからです。

私は、昔から本が大好きで、今でも何を読んだか覚えています。おばあちゃんが手芸が得意で、「はらぺこあおむし」の本を、ぬので作ってくれたことを覚えています。そうやって、絵本は語り継がれていくんだなと思いました。

保護者の意見を読んで初めて読んだとか1歳の頃にいっぱい読んであげたなどと書いてありました。保護者の方はリズム感がいいとかいていました。あと絵などのところがいいと書いてありました。僕がいいと思ったのは「ストーリーは子供の興味を引き、絵本が大好きになるきっかけを与えてくれました。」です。

★感想★

保護者の方は、小さな頃に読んだ絵本をもう一度子供に読み聞かせたりすることが多いんだな。やっぱり小さいときに読んだ本は、面白く感じたり思い出に残ってたりするからかな？子供ができて、その子にこれを読ませたいなと思えるのかもしれない。スイミーだと、「僕が目になろう」に衝撃を受けた方や、かっこいいなと思った人が多かった。純粹にかっこいいと思った人が多かったようだ。協力することの大切さについて、学んだ人もいるらしい。いろんな生き方があるんだと思った人や、みんなと違うと言われた人が自身を取り戻したりしている人が多いみたいだ。このようにスイミーは、いろんなことや違っていても大丈夫なこと、協力することの大切さを教えてくれているんだな、と思うと、素晴らしい作品だと感じる。子供の頃から好きな人とかいるし、いろんなことを語りかけてくれるからもっと色々な人に読んでもらいたいなと思った。

～保護者の方のアンケート～

保護者の方は、自分たちが子供の頃に読んで聞かせてくれた本を自分の子供に読み聞かせてできてよかったな、、、ということが書かれていました。だから、その読み聞かせされたひとが、またその子供に読み聞かせして、またその子が自分の子供に読み聞かせして、、、というふうな感じで、絵本は受け継がれていっているのだと思いました。

そして僕は、「大きなかぶ」が印象に残っています。母が、小さい頃に自分たち家族を登場人物に例えて読んでくれたからです。そして、絵本には、「愛」もこもっていると感じました。

感想

どの保護者の方も、絵本で、昔のことを思い出していた。

また、自分の子供のことのエピソードが書かれていた。
お母さんが、書いたくれたのがどれかわかりませんでした。

僕は、はじめてのおつかいと、おいしいのぼうけんはいえにあります。

いまでもたまによんで、たのしんでいます。

絵本というのは、大人でも、昔を思い出すために、買いたくなりそうです。

キャチコピーに昔を思い出すを入れようと思いました。

絵本で、かんじることは、子どもでも、おとなでも、高齢者でも感じるんだなと思いました。

○はらぺこあおむし

そもそもはらぺこアオムシの魅力について保護者の方のコメントを見て考えられさせました。今までは、絵がいいから、とか私は思っていたましたが、保護者の方の中に「幼児期に多くの色に触れることは発達に良い影響を与える」という記事を読んで買ってくれた保護者の方もいらっしゃったみたいで、子供のことも考えて買ってくれてる保護者の方もいるんだなと思いました。でもやっぱり、中は「子供が欲しがってたから買った」というのが多かったです。それに、やっぱり人気の本は読み語りがしやすいというのがあったらしいです。セリフが合ったり読みやすくすると、親子で読むときに、例えばはらぺこアオムシだと、「あ、ちょうちょ！」というのを親子で一緒に言って楽しんだり、中には「いっぱい読みすぎて覚えてる」というのもあるらしくて、やっぱり読みやすく覚えてやすい＝後まで影響に残りやすいということになり、影響を与えやすいということになります。やっぱり絵なども私は好きなので、色がいろんなのあってすごいな～っていう印象もあって買ったのもあると思います。ママから聞いたら、私が初めて自分から取った本らしくて、そのときは、自分から本が取ったことを驚いたらしいです（笑）。でも、それぐらいその時の私にとっては魅力的な本だったということだろうし、やっぱり食べ物が出てくるという、子供に共感しやすいエピソードだったのもあって、保護者さんも選んだんだと思います。多分「あっ、食べ物の話だから、もしかしたら（子供の名前）も興味を持ってくれるかも！」ってなったんだと思います。それに、保護者さんのアンケートを見てみると、最後にちょうちょになって子供がびっくりしていた、などという声も結構上がっていたので、それを踏まえて、私の10歳の頭脳で考えると、多分、「ヲチ」があるのがいいと思いました。たしかに人気な絵本はどれも落ちがあるし、今回は成長をテーマにしたオチだったけど、他の寝ない子誰だはオチは怖いけど、落ちがあるだけでほとんど面白いから、やっぱりオチ（カッテに解釈している）は必要だなと思います。

だいたいの保護者の方は自分の子供のエピソードが書いていて、僕は書店にかざるとき保護者の方が子供にいいなと思ってもらえるようなポップやポスターにしていきたいなと思いました。「お子さんたちにすごくいい！！」などのキャッチコピーを入れてもいいと思いました。これからのポップやポスター作りに活かしていきたいと思いました。もし活かすことができれば書いてくれた保護者の方に感謝の気持ちを伝え、言いたいと思いました。